

保健講話を実施しました（2023.9.19）

宮崎千恵婦人クリニック院長の宮崎千恵先生をお招きし、全校生徒を対象に「正しい知識を持って自分の身体は自分で守ろう ～生命の大切さ～」というテーマでご講演をいただきました。

本校の保健講話は、岐阜市性教育研修事業によるもので、産婦人科医と連携した「性に関する教育」の実施を通して、中高校生が生命の大切さを理解し、人間尊重、男女平等の精神に基づく正しい異性観をもち、望ましい行動がとれることを目的として毎年、全校生徒を対象に実施しています。

宮崎先生からは、月経の仕組みや妊娠出産、エイズ等の性感染症、将来の人生設計に関することなど幅広く生徒に必要な知識をご講演いただきました。

講演の中では、受精から出産までをイメージ化した映像を興味津々で見つめる生徒の姿が印象的でした。生徒の感想からは、「日本では意図していない妊娠による人工妊娠中絶がとて多いことに驚いた」「生まれてから虐待で亡くなる子どもがいることを知った」という声が複数あり、それぞれが「命」について深く考える時間となったように感じます。その他にも、「自分は将来子どもを産みたいので、今日の話覚えておきたい」、「性感染症について他人事ではないとわかった、もっと知りたい」、「子宮頸がんのワクチンについて家でも話題になったことがある」、「自分も生理が来ない時期があった」といった感想があり、自分自身のこれまでの生活や将来と関連させながら講話を聴くことができたようです。

今回の保健講話をきっかけに、一人一人が自分自身と向き合い、より一層、自分と周りの人たちを大切にできる心が育っていくことを願っています。

【講演の様子 ※各教室へオンライン配信】

今日の講演内容

- 女性の生理のことなど
- 妊娠成立の仕組みと避妊
- 性感染症ってどんな病気

女性に関する話が主になりますが、むしろ男性に理解して欲しいという気持ちで話をします。

途中で、気分が悪くなるようなことがあれば遠慮せず席を立て、外の風に触れて下さい。
あまり緊張しないで、リラックス！

2

